

「作業療法士」ってどんなシゴト？

世界の現状は？

2000年以降、開発途上国においてもリハビリテーションが普及し、作業療法士の養成機関も増加しています。

近年、リハビリテーション分野を始め、教育や保健医療、福祉、就労等の様々な分野が協力して障害者の社会参加促進を目指す、CBR(Community Based Rehabilitation: 地域社会に根ざしたリハビリテーション)が、世界の多くの国々で主流となりつつあります。



©JICA/Shinichi Kuno

「作業療法士」隊員とは？

病院や障害児者施設、特別支援学校、NGO、地域などで、患者への作業療法、CBR（Community Based Rehabilitation）活動の実践・普及などを行います。
小児から高齢者までを対象としていますが、年齢層や疾病は派遣される国や地域の特性によって異なります。

<活動内容例>

- 入院・外来患者に対する作業療法への支援
- 訪問・巡回指導の実施
- CBR活動の実践・普及
- 早期療育・日常生活活動練習における指導・助言
- 作業療法に関する啓発活動

「作業療法士」隊員には何が必要？

作業療法士の国家資格、3年程度の実務経験が必要です。

小児リハビリテーションの実習経験・実務経験があると、対応できる活動範囲が広がります。業務内容に必要とされる経験が不足している場合には、数週間程度の技術補完研修を実施する場合があります。

また、生活環境が厳しい開発途上国での活動となるため、何よりもご自身が健康であることが重要です！

参考資料は？

1. JICAホームページ情報:
「JICAボランティア」で検索
2. JICAボランティアの世界日記
<http://world-diary.jica.go.jp/>



©JICA/Yuki Kato